

一般財団広島県環境保健協会創立 60 周年記念式典ご挨拶

(平成 29 年 12 月 1 日) 広島市

皆さん、今日は。先ほどの第 58 回公衆衛生大会に引き続きまして

当協会創立 60 周年記念式典に当たりましてご挨拶申し上げます。広島県環境保健協会理事長の佐藤でございます。

本日、創立 60 周年記念式典を開催いたしましたところ、当協会が今日までお世話になりました多くの皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

また、ご来賓として「広島県 副知事 高垣 広徳様」、

「広島県医師会長 平松 恵一様」、「公益社団法人瀬戸内海環境保全協会常務理事 築谷 尚嗣様」をはじめ、市長、町長様、多くの関係団体の皆様にご出席いただきました。

大変ご多忙な中、ご臨席を賜り、心から厚く御礼申し上げる次第でございます。

さて、日本においては、明治以降、コレラを中心とする伝染病が流行しており、その対策や、予防のために明治 20 年頃から自治組織として衛生組合が設立されました。しかし、終戦後、ポツダム政令により、衛生組合が廃止されましたが、戦後の環境状況が悪化する中、伝染病予防のため、GHQ 連合軍により、ネズミや蚊、ハエ駆除の事業を行政部門で実施するよう指示が出ました。

蚊とハエの駆除には、殺虫剤の DDT が有効で、平成 24 年広島県が購入した薬剤費は、当時の金額で 2,500 万円という多額に上り県財政を圧迫しました。そこで考え付いたのが、行政と住民が協力しあって「蚊とハエのいない郷土建設運動」を起し、大々的な県民運動に発展させようという計画でした。まず、昭和 27 年秋までに、呉市長浜町、三原市須波西町など 7 地区がモデル地域に指定され、薬剤散布を住民自ら行うとともに、汲み取り便所、畜舎、堆肥舎など発生源となる場所の改善に取り組み、大きな成果を挙げました。その結果、市町村の 70%、県人口の 50%に当たる地域で本格的に熱のこもった運動が展開されました。全国で同じような取り組みが展開されましたが、広島県は補助金策をとらず、地域住民の自覚で組織作りをし、コミュニティ活動という自助努力で運動を伸ばすことに重点を置いた取り組みを行いました。こうした、全国でも特色のある取り組みと成果が高く評価され、昭和 29 年厚生省より保健文化賞が授与されました。

大きな成果を収めた「蚊とハエのいない郷土建設運動」は多くの熱心な地区活動リーダーや地区組織を生み出しました。こうした関係者から、地域の衛生運動が持続する仕組みを作ってほしいとの要望を受け、昭和 31 年 4 月に広島県公衆衛生推進要綱が制定され、これに基づき、市町村単位に住民組織としての公衆衛生推進協議会が設置されました。そして、県下全域の地区衛生組織が相互に連絡提携し、衛生行政と緊密な連携を図り、地域衛生運動を持続させる仕組みが必要であるとして、昭和 32 年 12 月 4 日県庁内に事務局を置く、任意団体としての「広島県地区衛生組織連合会 (略称：県衛連)」が設立され、これが当協会の出発点でした。澤崎嘉衛先生が初代会長とし昭和 51 年までの 19 年間、また青木秀信氏が事務局長や理事長を歴任され、県衛連の発展に尽力されました。

代表的な活動は、「県内一斉ねずみ駆除運動」「広島県公衆衛生大会を開催」、また「健康感謝の日」を設定し、現在の環境・健康募金である健康感謝募金運動を開始、昭和36年に「社団法人広島県地区衛生組織連合会」となり、平成7年には社団法人を発展的に解散し、「財団法人広島県環境保健協会」を設立。そして平成25年に一般財団法人に移行しました。

県衛連は、環境と健康をテーマにした地区組織活動を促進する機能集団であり、公益事業を展開するためには自主財源の確保が必要となり、昭和38年に広島県衛生研究所内の一室に設立されたのが衛生検査センターで、これが現在の健康科学センターの前身です。

昭和30年代後半、大気汚染が大きな問題となり、昭和45年に公害研究センターを発足させました。これが現在の環境科学センターの前身です。

以来、人間ドック、特定保健指導、生活習慣病予防などの健康分野の事業や飲料水、大気、食品検査、材料試験や環境アセスメントなどの環境分野の事業を展開してまいりました。

また、近年では健康分野、環境分野の事業に続く新しい事業として、女性専用フィットネススタジオ「ファン・ドウ・フィットネス [かんほきょう]」や出張型フィットネス「キャラバンフィットネス」を実施しています。株式会社かんほきょうコミュニティサポートを設立し、「リハビリサロンおひさま」の運営を開始しました。

また、収益事業のみにとどまらず、様々な社会貢献活動を実践し、平成6年には「ひろしま環境賞」を受賞、「瀬戸内海の環境保全活動」に対して平成5年に表彰状、平成28年に感謝状を頂いたり、今年度は、「ごみゼロクリーンウォーク」や「環保協前天満川クリーン作戦」の継続的実施が評価され、平成30年2月1日に広島市環境美化功労者表彰 団体の部 環境美化永年活動10年表彰で表彰されることが決定しました。

本日の記念式典では、これまで多年にわたり公衆衛生活動に精励され、地域発展推進に大きく貢献されました公衆衛生推進協議会の皆様及び10年以上地球温暖化防止活動を実践されてきました地球温暖化対策地域協議会の皆様に感謝状を授与させていただきます。

また、記念講演として、宇宙飛行士の土井隆雄先生に「宇宙と地球環境」と題してご講演いただくこととしております。宇宙飛行士、天文家など様々なお立場から、宇宙と地球環境について語っていただきますので、環境づくりに参考になるお話が伺えるのではないかと考えております。

当協会は、これまで社会の変化やニーズに、積極的かつ的確に対応して参りました。

現在、人口減少、少子高齢化、地球温暖化、健康寿命の延伸、豊かな瀬戸内海の創造等、取り組まなければならない課題が山積みしています。これからも60年にわたり培ってきた環境と健康に係わる技術とノウハウを活かし、広島県のみならず、日本全国又アジア地域にまで拡げ、また新しい事業にも挑戦していければと思います。

今後も「みんなの生命（いのち）をまもりたい」の基本理念のもと地域社会の発展と住みよい未来の創造に、協会役職員一丸となって取り組んでいく所存でございます。今後とも、皆様のご理解とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

本日は記念式典にお集まり頂き、誠にありがとうございました。